

哲学的人類学

(Philosophical Anthropology)

担当教員名: 准教授 秋澤 雅男

【概要】

「人類学」と言えば、「自然人類学」や「文化人類学」を思い浮かべるかも知れぬが、この講義で話しをするのは「哲学的人類学」である。「哲学的」と聞くと敬遠したい気持ちになるかも知れない。しかし、その語源的意味は、「智を愛する」又は「智を請い(恋い)求める」ことである。だから、哲学的人類学とは、自分がそうである人類・人間をまず愛おしみ、その人間の多様な在り方を知識として把握し、その上で単なる知識の総合に留まらない、科学的知を超える人間の基本的な在り方を開示する英知(智)を請い求めることである。

【授業の一般目標】

将来医療人の一人として活躍することになる諸君は、自らがそうである人間のあらゆる特性を広範に且つ深く知り理解する必要がある。この講義では、人間の種としてのまた個としてのその多様な在り方について、日常性の視点をやや超えたところから考察することを学んでもらうことにする。

【成績評価方法・基準】 レポートで成績の評価を行う。レポートの課題を五つほど挙げ、その内の一つについて報告を書いてもらうことになる。他者のレポートのコピーは、致命的な結果を招くことになると理解しておくように。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

質問のある学生は、教員の研究室(南校舎4階)まで来てください。
